



ツシマヤマネコを守れ!!

4月14日、対馬高校美術部3年の小田剛士君が作成した、ツシマヤマネコを題材にした紙芝居「やまねこさんぽ」を、環境省対馬自然保護官事務所厳原事務室に寄贈しました。紙芝居は、今後いろいろなイベント等で上演される予定です。



写真:左 住友大阪セメント(株)関根社長

ツシマヤマネコの良き理解者

4月18日、住友大阪セメント株式会社(関根 福一社長:東京都千代田区)から、ツシマヤマネコ基金へ社員有志による募金300,000円をご寄付いただきました。同社による寄付は、昨年度に引き続き2回目で、ホームページや社内報を通して広くツシマヤマネコ保護をご紹介いただいています。



写真:新ツシマヤマネコ舎公開式典の様子

新ツシマヤマネコ舎オープン!

4月26日、名古屋市東山動物園で新しいツシマヤマネコ舎の公開式典が開催されました。同園では平成23年よりツシマヤマネコの飼育展示を行っており、新獣舎は環境省によるツシマヤマネコ保護増殖計画に基づく繁殖施設としての役割も担っています。



祝 白寿 おめでとうございます

河野 ヤエ子さん(美津島町)大正4年4月10日生まれ

99歳を迎えられた河野さんに市から褒状とお祝い金が贈られました。これからも長生きしてください。



入学おめでとう

4月に入り、市内の小・中・高校で入学式が行われました。峰町の東小学校では、10人の新1年生が入学し、教職員達があたたかく向かえ入れました。3月末で閉校となった南陽小学校の児童達も、新しい学舎に元気に登校しました。



“宝の海”これからも永遠に

上対馬町漁業協同組合青壮年部は、第19回全国青年・女性漁業者交流大会に出場し、地域漁業の振興と漁村の活性化に貢献したことを評価され、農林中央金庫理事長賞を受賞しました。(平成26年広報つしま1月号参照)



新しい歴史が始まります

4月11日、厳原町の厳原幼稚園で開園式が行われました。式典の前には、テープカットと同時に開園を祝って風船が空に舞い上がりました。また式典では、財部市長から俵二三昭園長へ新園舎の鍵の受け渡しが行われました。

Pickup!① 人権擁護委員が交代しました

法務大臣から委嘱を受け、人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済する活動を行う人権擁護委員が変わりました。



3月31日をもって退任された森田健一さん（左：峰町）、小島俊洋さん（右：上対馬町）には、長崎県人権擁護委員連合会長から感謝状が贈られました。



新任のいちのみやとくしゅう一宮徳秀さん（左：上対馬町）、ながだめたか永留堯吉さん（右：峰町）の任期は平成26年4月1日から3年間です。

잘 부탁드립니다. (よろしくお願ひします)

Pickup!②

4月11日、韓国からの国際交流員として申 瑠関さんシン・スミンと韓 賢美さんハン・ヒョンミが着任しました。



申 瑠関さん

江原道春川市出身。
誠信女子大学日語日文学科を卒業後、日本語教師の資格を取得。市役所 総合政策部 観光交流商工課へ配属。



韓 賢美さん

ソウル特別市出身。
韓東大学校の言論情報文化学部を卒業後、韓国の雑誌記者として勤め、現在は、梨花女子大学通訳翻訳大学院日韓通訳学科に在学中です（休学中）。上対馬振興部地域振興課へ配属。

Pickup!③

対馬の若い力と意欲に感謝



諫早農業高校バイオ園芸課3年生のまつおほるか松尾陽香さん（美津島町賀谷出身）から「オオゴンオニユリ」の球根20株を寄贈いただきました。

「オオゴンオニユリ」は対馬の固有種で大変貴重な植物です。

諫早農業高校には、最先端の無菌培養施設が整備されており、15年ほど前から「オオゴンオニユリ」保存のため、球根の培養に取り組んでいます。

また、松尾さんが所属する同校研究グループは「ヨシを原料としたバイオエタノールの生産」を研究テーマとした「平成25年度全国高校生エコアクションプロジェクト第4回高校生環境活動発表会全国大会」で「環境大臣賞」を受賞されるなど全国を舞台に活躍中です。